



▼甲佐町童話発表会で練習の成果を披露した町内各小学校の代表児童たち



8月27日（火）龍野小学校で、令和元年度町童話発表会が開催されました。同大会は、児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けるとともに、読書意欲の向上を図り豊かな人間性を育成することを目的に、町教育委員会が主催町内各小学校から8人の児童が出場しました。最優秀賞には、『そつとちどだけ』（なりゆきわかこ著）を発表した渡邊南奈さん（白旗小6年・北早川区）と『せかいいちうつくしいぼくの村』（小林豊著）を発表した石原葵さん（乙女小5年・津志田区）が選ばれました。2人は本町の代表として、9月2日（月）に嘉島町民会館で開催された郡大会へ出場。郡内各町の代表者10人が練習の成果を発表し、優秀な成績を修めた渡邊さんが10月5日（土）に嘉島町民会館で開催される県童話発表大会への出場を決めました。

童話を通して心を育てる

令和元年度町童話発表会

8月27日（火）龍野小学校で、令和元年度町童話発表会が開催されました。同大会は、児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けるとともに、読書意欲の向上を図り豊かな人間性を育成することを目的に、町教育委員会が主催町内各小学校から8人の児童が出場しました。最優秀賞には、『そつとちどだけ』（なりゆきわかこ著）を発表した渡邊南奈さん（白旗小6年・北早川区）と『せかいいちうつくしいぼくの村』（小林豊著）を発表した石原葵さん（乙女小5年・津志田区）が選ばれました。2人は本町の代表として、9月2日（月）に嘉島町民会館で開催された郡大会へ出場。郡内各町の代表者10人が練習の成果を発表し、優秀な成績を修めた渡邊さんが10月5日（土）に嘉島町民会館で開催される県童話発表大会への出場を決めました。

親子で芸術に触れよう

人形劇公演「白雪姫」

8月25日（日）町生涯学習センターで、人形劇公演「白雪姫」が開催されました。

同公演は、子どもも大人も同じ空間に集い、生の芸術に触れて感動を共有することで、子どもの豊かな心を育むとともに、地域の文化振興を図ることを目的に、町教育委員会が同センター自主文化事業として実施。「人形芝居かすぺる」を招いて行われた公演を親子連れなど76人が観劇しました。

幕が上がり人形たちが登場すると、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。



▲人形劇公演「白雪姫」を観劇する親子連れなどの参加者



▲祝状を伝達された坂口さん（中央）

100歳おめでとうございます

令和元年度100歳到達者に祝状などを贈呈

9月20日（金）令和元年度100歳到達者（大正8年4月1日〜大正9年3月31日生まれ）に祝状などが贈られました。今年度の到達者は、田上アヤさん（西寒野区）、福田フサエさん（西寒野区）、松村信子さん（西寒野区）、坂口ヨシ子さん（上豊内区）、河部シゲ子さん（岩下一区）、佐藤数喜さん（仁田子区）、野仲サダ子さん（上早川四区）、本郷トキエさん（系田区）、伊佐アキコさん（麻生原区）、森口淳さん（津志田）の10人。奥名町長が各到達者を訪問し、内閣総理大臣からの祝状と記念品を伝達。町と甲佐町社会福祉協議会も祝い金を贈りました。

みんなで環境問題に取り組もう

こうさ環境フェア2019を開催

9月21日（土）町生涯学習センターで、こうさ環境フェア2019が開催されました。

同フェアは、環境問題に関心を持ち、環境保全の取り組みを実践するきっかけを作ることなどを目的に、町と町教育委員会が主催。「大切な水」をテーマにした講演会や環境保全に関する展示、エコ体験などが行われました。

また、故郷をテーマにした絵画コンテストや環境俳句コンテスト、グリーンカーテンコンテストが開催され、受賞者の表彰が行われました。



▲甲佐町の地下水環境についての講演を聞く参加者

▲感謝状の伝達を受ける林敏久青年部部长（左）



献血活動で日本赤十字社から感謝状

熊本県自動車整備工業協同組合益城支部青年部

8月29日（木）甲佐町役場町長室で、熊本県自動車整備工業協同組合益城支部青年部（林敏久部長）に日本赤十字社熊本県支部長感謝状が伝達されました。同表彰は、長年継続的に献血に協力し献血運動の推進に功労のあった団体に感謝の意を表して、日本赤十字社熊本県支部が表彰するもの。今年度は、県内の11団体に感謝状が贈呈されました。

同組合益城支部青年部は、若者への献血推進活動を働き掛けるなど、20年以上にわたって献血活動に積極的に協力。その功績が高く評され、今回の表彰となりました。

おもてなしの準備は万端

国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」



▲開花を間近に控えた「キンモクセイ」まわりの落ち葉を掃いたり、机を拭いたりして見物客を迎える準備を整える「保存会」の皆さん

9月24日（火）国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」の開花を前に、地元の麻生原区（福田欣一区长50世帯）で結成された「麻生原キンモクセイ保存会」の皆さんが見物客をもてなすための準備を行いました。

台風一過となったこの日、参加者は落ち葉を掃いたり、机を拭いたりして汗を流しました。

大きさ日本一と言われる「キンモクセイ」は、昭和9年に国が天然記念物に指定。麻生原居屋敷観音の境内に茂った大樹で、樹高18m、目通りの周りは3m。枝張りには東方に9m、西方と南方に8m、北方は11mに達しています。

毎年、秋の彼岸ごろに淡い黄色の花を付けて独特な香りを放つ「キンモクセイ」は、10月初旬に満開を迎え、町内外からの見物客をかわいらしい花と優しい香りで楽しませます。

同保存会では、毎年、訪れた見物客にお接待を行っており、9月30日（月）から10月6日（日）までの午前9時30分～午後3時に、お茶などが振る舞われます。